

# 様式 1

## 学力向上に向けた取組事例 (R元)

事務所名	県南	学校名 市町村名	守谷市立守谷中学校	TEL	0297-48-0034
------	----	-------------	-----------	-----	--------------

### 課題

- ・ 習得した知識や技能を活用する力 (生徒)
- ・ 教科等横断的な視点に基づく授業づくり (教師)



### 改善方法

- ・ 学びの系統性, 教科等の関連性を可視化し, 教職員全体で共有する。

### 1 昨年度までの課題

- ・ 知識や技能を習得することはできるが, それらを別の場面 (他教科, 日常生活) で活用する経験が不足している。そのため, 習得した知識や技能を活用したり, 既習事項を生かして課題解決したりすることが難しい。(生徒)
- ・ 担当する教科に関する専門性は高いが, 他教科や領域での学習に目を向けることが少ないため, 生徒に対して学びの連続性を意識して授業づくりすることが難しい。そのため, 生徒が学びのつながりを実感できない。(教師)

### 2 取組のキーワード

カリキュラム・マネジメント 教科等横断的な視点 深い学び 習得 活用  
○「つなぐ」…各自の取組とカリキュラムをつなげるワークショップ型校内研修  
○「可視化」…守谷中学校区「視覚カリキュラム」の活用による教科同士の関連性の可視化  
○「見合う」…教科の枠を越えた相互授業参観・事後検討会 守谷中学校区「授業メソッド」の活用

### 3 具体的な実践

#### 守谷中学校区研究テーマ

つながりを生かして学びを深める児童生徒の育成

～守谷中学校区「視覚カリキュラム」の活用を通して～

- 4月: 目指す児童生徒像の共有及び意見交流(つなぐ)  
「視覚カリキュラム」を活用した研修①(可視化)
- 5月: 研究部による提案授業(見合う)  
美術科と社会科, 数学科と社会科における教科等横断的な視点に基づいた授業
- 6～7月: 教科の枠を越えての指導案検討会, 事後検討会(つなぐ・見合う)
- 8月: 「視覚カリキュラム」を活用した研修②(可視化)  
7月までの実践の足跡を「視覚カリキュラム」に残し, 9月以降の実践について  
学びの系統性, 関連性の視点で計画を立てる。
- 9～12月: 研究テーマとの関連を意識した校内授業公開, 相互授業参観(見合う)
- 1～3月: 今年度の取組の振り返りと次年度への課題の引き継ぎ

### 4 成果について

- 「授業で学んだことを, ほかの学習に生かしていますか。」(全国学力・学習状況調査)において「あてはまる」と答えた生徒の割合: 41.6%(全国: 26.9%)
- 自分の担当教科と他教科, 領域との関連性を意識して授業づくりに取り組む教職員の割合の増加